
ClickFlow SearchTrail Manual

ClickFlow 1.5 SearchTrail

Copyright ©2005 C-EGG, All rights reserved.
<http://www.c-egg.com>

Table of Contents

1. インストール/アンインストール	3
インストール	3
アンインストール	3
2. 基本操作	4
2.1. 新しいログ解析	4
LogAnalyzer Wizard	4
解析オプション: 詳細指定	5
2.2. ログの追加	5
2.3. ウィンドウ操作	6
標準的な操作手順	6
3. 集計方法	7
検索エンジン	7
検索ワード	7
訪問リスト	8
4. ini reference	9
4.1. init_searchtrail.ini	9
About Section	9
InsertWordFilter Section	10
4.2. referer2search*.ini	11
About Section	11
Operator Section	12
5. Regular expression reference	13
エスケープ文字	13
位置マッチング	13
文字クラス	14
繰り返し	14
グループ化	15

1. インストール/アンインストール

インストール

1. 旧バージョンがインストールされている場合にはアンインストールします。
2. ClickFlow の最新版を <http://www.c-egg.com/clf/> からダウンロードします。
3. ダウンロードしたファイルを開きインストールします。
4. インストールが終了したら ClickFlow を起動します。
5. 表示されるダイアログに License を入力します。

例)

```
TYPE  CFAC-0FE0  
CODE  0123-4567-89AB-CDEF
```

※TYPE や CODE で使用している文字
半角数字"0"から"9"
半角大文字アルファベット"A"から"Z"
半角ハイフン"-"

6. OK をクリックし製品を起動します。

アンインストール

1. 起動している ClickFlow や ClickFlow 関連のツールをすべて終了します。
2. コントロール・パネルの「アプリケーションの追加と削除」から ClickFlow を削除します。
データ保存フォルダは自動で削除されません。

3. データ保存フォルダ、設定保存フォルダを削除します。(Optional)

データ保存フォルダ : My Document 下の“My ClickFlow”

設定保存フォルダ : Program Files 下の“C-EGG¥ClickFlow¥conf15”

2. 基本操作

2.1. 新しいログ解析

ClickFlow の解析エンジンは、Apache HTTPD Server から出力される"Combined Log Format"に対応しています。

解析するログ・ファイルには、Request と Referer の組み合わせを最低 3 段以上追跡することが可能な記録が1組以上含まれている必要があります。

例) 解析可能な最小ログ

```
127.0.0.1 -- [01/Jun/2000:00:00:00 +0900] "GET / HTTP/1.0" 200 - "http://external.site/" "Mozilla/4.0"
127.0.0.1 -- [01/Jun/2000:00:00:00 +0900] "GET /1hop/ HTTP/1.0" 200 - "http://c-egg.com/" "Mozilla/4.0"
127.0.0.1 -- [01/Jun/2000:00:00:00 +0900] "GET /2hop/ HTTP/1.0" 200 - "http://c-egg.com/1hop/" "Mozilla/4.0"
127.0.0.1 -- [01/Jun/2000:00:00:00 +0900] "GET /3hop/ HTTP/1.0" 200 - "http://c-egg.com/2hop/" "Mozilla/4.0"
```

解析では閲覧者が直接開くことの無い埋め込みオブジェクト(画像/音楽/動画/フラッシュ/など)を除外する必要があります。解析オプション「標準」では、除外される拡張子に"jpg, gif, png, swf, css, js"が指定されます。その他の拡張子を除外する必要がある場合には、解析オプション(p.5)に追加指定してください。

LogAnalyzer Wizard

1. メニューから「ファイル」->「新しいログ解析」を選択し、LogAnalyzer Wizard を起動します。
2. 解析するログ・ファイルをワイルドカードで指定します。(Optional)

例) c:\¥www¥log¥以下に次のログ・ファイルがある場合

```
access200101.log.gz
access200102.log.gz
access200103.log.gz
access200104.log.gz
:
:
```

ワイルドカードの例

```
"c:\¥www¥log¥access2001*.log.gz"
"c:\¥www¥log¥*.log.gz"
```

3. ファイル・リストの編集を行います。
4. 解析オプション「標準」を選択します。
5. 「完了」をクリックして解析を開始します。

解析オプション: 詳細指定

1. LogAnalyzer Wizard で解析オプション「詳細指定」を選択します。
2. 除外する拡張子を指定します。区切り文字:“,”(Comma)
解析から除外するページの埋め込みオブジェクト(画像/音楽/動画/フラッシュ/など)の拡張子を指定します。除外を行わない場合、統計情報の Stay(p.7)が大きく変化することがあります。
3. DirectoryIndex を指定します。区切り文字:“,”(Comma)
/dir/index.html へのアクセスが/dir/と等価になる場合、“index.html”を指定します。
4. UserAgent の選別方法を選択します。
「標準」以外ではロボットなどのアクセスも集計するため、閲覧者のクリック数に関連する集計情報が大きく変化することがあります。

2.2. ログの追加

解析済みログ・ファイル(*.cflog)に新しくログ・ファイルを追加します。

1. 解析済みログ・ファイルを開きます
2. メニューから「ファイル」->「ログの追加」を選択し、LogAnalyzer Wizard を起動します。
3. 「新しいログ解析」と同様の手順でログ・ファイルを指定してください。
 - 追加可能なファイル
解析済みログ・ファイルよりも新しいファイル

2.3. ウィンドウ操作

標準的な操作手順

1. 解析済みログ・ファイルを開きます。(新しいログ解析 p.4)
2. 「1. 検索エンジン」一覧から検索エンジンを選択します
複数の項目を選択するには、Ctrl キーや Shift キーを押しながら項目をクリックします。
3. 「2. 検索ワード」一覧から検索ワードを選択します
複数の項目を選択するには、Ctrl キーや Shift キーを押しながら項目をクリックします。
何も表示されない場合には、表示を「すべて」に変更してください。
4. 「3. 訪問者リスト A/B」から訪問者を選択します
複数の項目を選択するには、Ctrl キーや Shift キーを押しながら項目をクリックします。

以上の操作から、特定の検索エンジンから、ある検索ワードで訪問したユーザが、どのようなページを閲覧したか、などの情報を表示することができます。

3. 集計方法

検索エンジン

Visitor

1回の検索を1人の Visitor として加算

Link

Referer から訪問のあった Request の数

Referer

「サービス名から選択」では、`referer2searchname.ini(p.11)`に記述される方法で Referer をグループ化します。

検索ワード

「検索エンジン」で選択した Referer グループからの検索ワードを抽出し、統計を行います。

Visitor

同一の検索ワードでの検索数

Stay

到着から次のクリックまでにかかる平均時間。そのままサイトを退去した閲覧者は集計から除外しています。

Exit

到着から最後のクリックまでの平均時間

Rank

検索結果の何ページ目に表示されていたかの平均を集計。**Rank=1.5** は、およそ1ページ目から2ページ目にかけて表示されることが多いことを表しています。ページ数は、`referer2searchpage.ini(p.11)`により生成します。

ページ数が取得できない場合は1ページ目に表示されたものとして集計を行います。そのため Rank は実際の平均ページ数を下限とし、それよりも少し小さい値になります。

Click

退去するまでの平均クリック数

Words

`referer2searchword.ini(p.11)`により生成

訪問リスト

「検索エンジン」で選択した Referrer グループの中で、「検索ワード」の検索を行ったユーザを対象にした集計を行います。

Visitor

閲覧ユーザ数

Request

閲覧 URL

訪問リスト B では、訪問リスト A で選択した訪問者を対象に集計を行います。

4. ini reference

4.1. init_searchtrail.ini

About Section

```
[About]
Version=1.5
Description="description"
```

■ Entries and Values

Version
書式のバージョンを指定します。

Description
このファイルの説明を記述します。

■ Example

```
[About]
Version           = 1.5
Description       = "Initialize"
```

InsertWordFilter Section

```
[word-filter-name]
Dispatch=InsertWordFilter
Text="display-text"
ReadOnly={0|1}
VariableMin={(null)|float-number}
VariableMax={(null)|float-number}
```

■ Entries and Values

Dispatch

このセクションの働きを記述します。

Text

WordFilter の表示名を記述します。

ReadOnly

1 の場合読み取り専用になります。

VariableMin

VariableMax

Variable が最小値(Min)以上、最大値(Max)以下の検索ワードのみを集計対象にします。上下限を設定しない場合には空欄にします。

■ Comment

WordFilter の挿入は **Tab Section** の記述された順序で行われます。

■ Example

```
[Important]
Dispatch      = InsertWordFilter
ReadOnly      = 1
Text          = "重要な検索ワード"
VisitMin      = 5
VisitMax      =
StayMin       = 5
StayMax       =
ExitMin       = 10
ExitMax       =
RankMin       =
RankMax       = 10
ClickMin      =
ClickMax      =
```

4.2. referer2search*.ini

About Section

```
[About]
Version=1.5
Description="description"
Source={"FullReferer" | "Referer"}
```

■ Entries and Values

Version

書式のバージョンを指定します。

Description

このファイルの説明を記述します。

Source

使用していません。(他の ClickFlow 製品で利用します)

■ Example

```
[About]
Version      = 1.5
Description  = "FullReferer to SearchPage"
Source       = "FullReferer"
```

Operator Section

```
[operator-name]
IfID="decimal-number"
Pattern="pattern-string"
Replace="replace-string"
Unescape={raw | UTF-8 | EUC-JP | ShiftJIS | ISO-2022-JP}
SetID="decimal-number"
```

■ Entries and Values

IfID

ID が一致する場合にのみ実行。初期状態は-1。記述しない場合には全ての場合に実行。

Pattern

正規表現のマッチングパターン

Replace

置換する文字列

Unescape

置換した場合に、文字列を指定の Charset で unescape します

SetID

置換した場合にセットされる ID

■ Comment

Operation は記述された順序で実行します。

■ Example

```
[Google%UTF-8]
IfID=10
Pattern="^ie=(UTF¥-8|utf¥-8)&.*q=( [^&]+ ).*"
Replace="$2"
Unescape="UTF-8"
SetID=9999
```

```
[StripQuote]
IfID=9999
Pattern="^( [^" ]* )"
Replace="$1"
```

5. Regular expression reference

エスケープ文字

`\? * \+ \. \| \{ \} \[\] \(\ \)`

■ Example

```
"http://www.co.jp/"
"http://wwwXco.jp/"にもマッチします。

"http://c-egg.com/search?d="
"http://c-egg.com/searched="にもマッチします。

"^http://c-egg\.com/search?d=test$"
"http://c-egg.com/search?d=test"にのみマッチします。
```

位置マッチング

`^` 先頭にマッチします。
`$` 末尾にマッチします。

■ Example

```
"^http://c-egg\.com/search?d=test$"
"http://c-egg.com/search?d=test"にのみマッチします。

"^/dir/"
"/dir/"で始まる Request にマッチします。
```

文字クラス

[xyz]	含まれている任意の 1 文字にマッチします。
[^xyz]	含まれていない任意の 1 文字にマッチします。
.	¥n 以外の任意の文字にマッチします。
¥w	[a-zA-Z_0-9]と等価
¥W	[^a-zA-Z_0-9]と等価
¥d	[0-9]と等価
¥D	[^0-9]と等価

■ Example

```
"^/[^/]+/$"  
/の直下にあるディレクトリにマッチします。  
  
"^http://[^/]+¥.[a-z]{2}¥.jp"  
"http://c-egg.ac.jp", "http://c-egg.go.jp"などにマッチします。
```

繰り返し

{x}	ちょうど x 回マッチします。
{x,}	x 回以上マッチします。
{x,y}	x 以上、y 以下の回数マッチします。
?	{0,1}と等価
*	{0,}と等価
+	{1,}と等価

■ Example

```
"^http://[^/¥.]+¥.[a-z]{2}¥.jp"  
"http://c-egg.ac.jp", "http://c-egg.go.jp"などにマッチします。
```

グループ化

- () 1つの句を作成します。
- | "(ac)|(co)" は "ac" または "co"にマッチします。

■ Example

```
"^http://[^/]*¥.(ac|go|co)¥.jp$"
"c-egg.ac.jp", "www.c-egg.go.jp"などにマッチします。
```

```
"^http://www¥.google¥.(com|(co|com)¥.[a-z]{2}|[a-z]{2})"
"www.google.com", "www.google.co.jp", "www.google.com.au",
"www.google.de"などにマッチします。
```